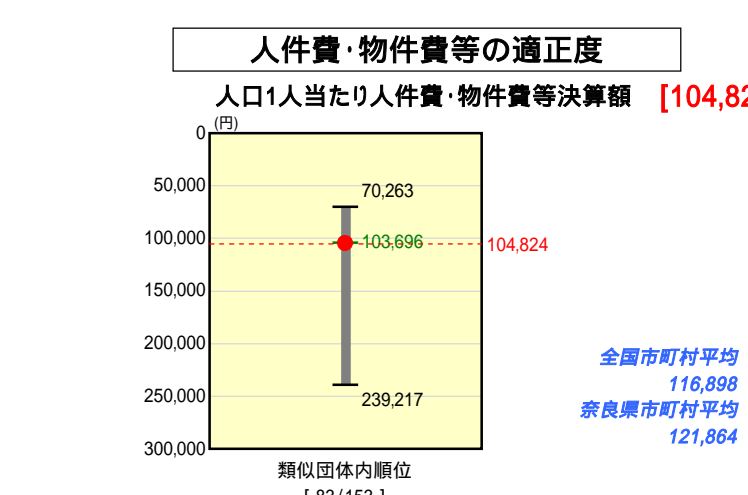
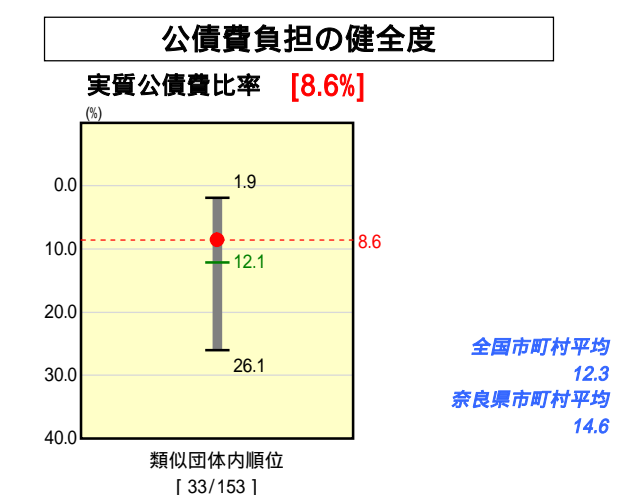
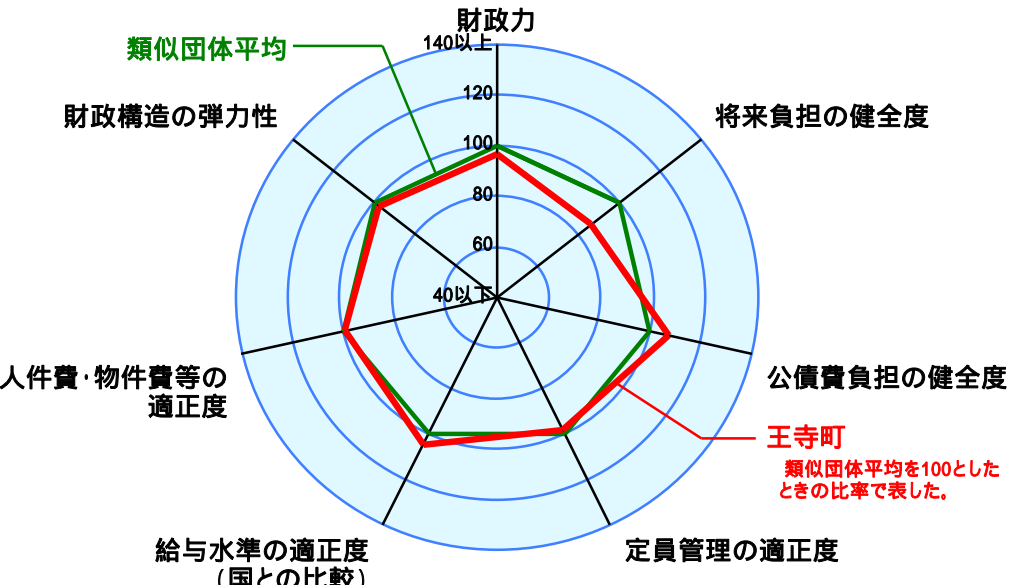
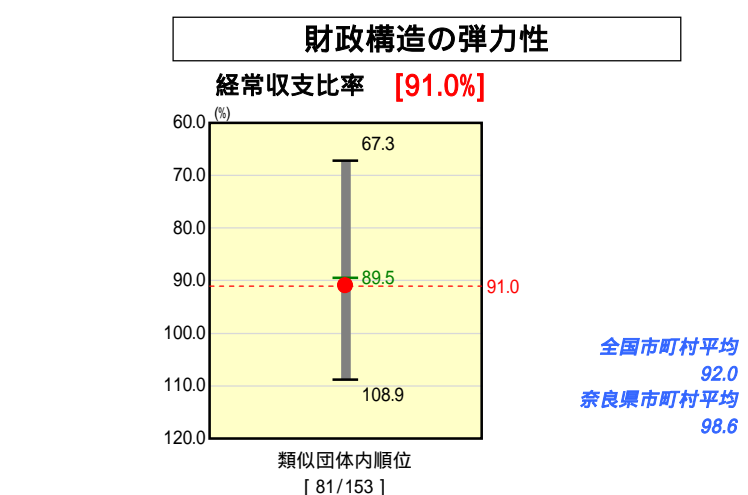
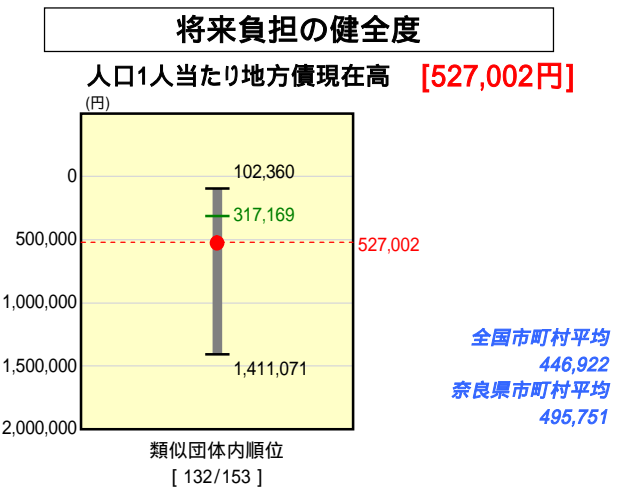
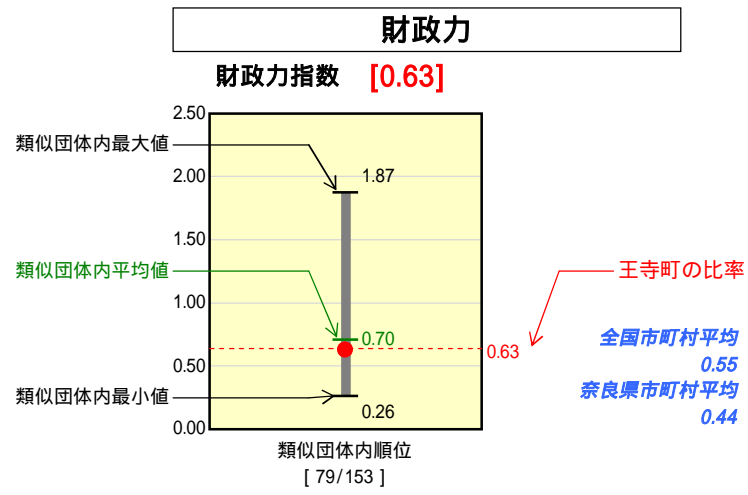


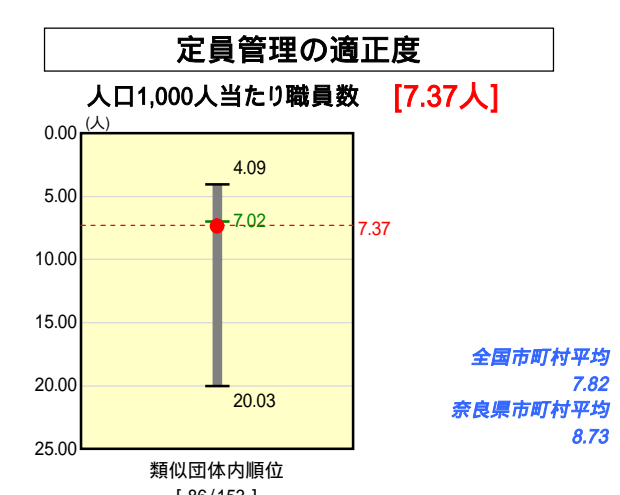
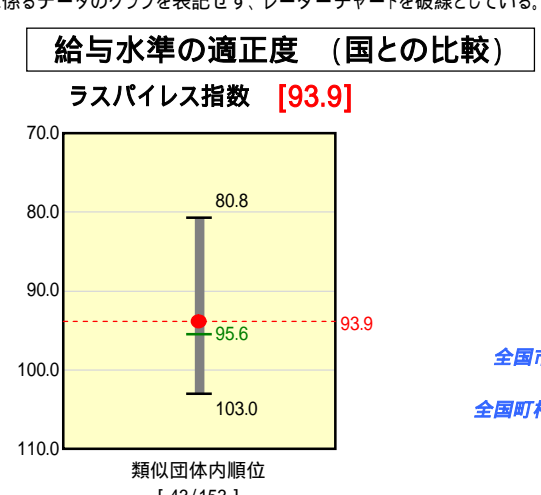
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 王寺町

人口	22,537人	(H20.3.31現在)
面積	7.00	km ²
歳入総額	8,781,496	千円
歳出総額	8,649,543	千円
実質収支	131,682	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
類似団体平均値より下回っているものの、自主財源確保に向け、町税の徴収強化に努めており、19年度の現年課税分の徴収率は99.5%(H18年度99.0%、H17年度98.2%)と、高水準を維持している。

【経常収支比率】
経常収支比率が前年度に引き続き90.0%を超えた要因は、三位一体改革による税源移譲で地方税は増額したものの、地方譲与税及び地方特例交付金でそれを上回る減額があったためである。引き続き新・王寺町行財政改革大綱及び実施計画に基づき、内部事務経費の削減や行政運営の見直しに努め、財政の弾力性を保持する。

【人件費・物件費の適正度】
類似団体平均値に近い数値である。人件費では退職者補充採用の抑制を継続し、物件費では18年度当初予算で実施した旅費及び需用費(修繕費を除く)の対前年度比10%削減の額を限度額とした予算編成を行った。今後も新・王寺町行財政改革大綱及び実施計画に基づき、適正な水準を維持する。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均値に比較して地方債現在高は約1.66倍となっているものの、本町における基盤整備はほぼ完成しており、今後の地方債発行は抑制できる。

【実質公債費比率】
過去からの起債抑制対策により類似団体平均値を下回る数値を示しており、引き続き水準を抑える。

【人口1,000人当たり職員数】
過去から適正な定員管理に努めており、今後も、退職者補充採用を抑制し、適正な水準を維持する。